資料－1(2)

一般社団法人　日本応用地質学会

令和 8 年度・2025 年度

第 3 回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会　議事録

日　時 : 2026 年 9 月 24 日(火) 15:00～17:00

場　所 : 日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者 : 菊地委員長、長谷川委員、山田幹事(以上 対面)、加地委員、小泉委員、崎田委員、外山委員、野々村委員、濱田委員、水野委員(以上 Web)

委任状提出:山崎副委員長、昆委員、百嶋委員、百瀬委員

陪席:茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

・前回(2026 年 7 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。

2. 理事会報告

・(報告事項なし)

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) ARC16 関連(2027.11.25～27、泉佐野市:エブノ泉の森ホール)

・準備状況について説明がなされた。

・JSEG 会誌特別号の出版に関する企画書案について説明がなされた。

・(学術部会)特別公演の候補者2名について、学術部会で検討し了承が得られたら先方へ打診する。基調講演の候補者については、対応を検討する。

・(広報分科会)各種イベントでの広報予定と配布物について。

① IAEG2026@デルフト

担当:崎田委員。当日会場の受付で配布(もしくは配布物に同封)が可能かどうか、事務局へ確認する。マグネットについては、Council Meeting で直接配布する方向で調整する。

② CCOP@つくば

③ JSEG 研究発表会@長岡

・(広報分科会)パンフレットとマグネットについては、KSEG 能登巡検とインドネパール合同シンポジウムでも配布する方向で調整する。

・(広報分科会)学術部会関連情報の HP 掲載スケジュール案について、部会内で共有・確認してもらう。

2) 東アジア地域若手技術者交流会 関連

・台湾で開催された「地球物理学会・中華民国地質学会年次総会・学術シンポジウム(2026 Annual Meeting of TSRMEG、2026.6.15-18)」への参加レポート案について説明がなされた。学会誌へのレポート掲載に向けて準備を進める。

3) 日韓台 3か国交流 関連

・KSEG 会長から能登半島地震被災地の現地巡検の実施依頼を受けた件について、企画案の説明がなされた。現時点では総勢 18 名にて催行予定である。

4) IAEG 役員関連

・立候補者のうち、重複ポスト(会長、事務局長、アジア地区 VP、ヨーロッパ地区 VP、YEG VP)について、JapanNG として誰に投票するかを確認する。

5) IAEG Congress_2026 Delft 参加について(現地巡検等の調整)

・現時点での行程案について説明がなされた。日本からの参加者によるミニ巡検を予定しており、帰国後には参加報告会を開催する方向で検討している。

6) IAEG Newsletter 関連

・No.3 掲載用の投稿内容について説明がなされた。

・次号(2026 年 No.4、12 月初旬頃に入稿〆切予定)に向けて、原稿用素材(2026 研究発表会、KSEG 能登巡検など)の準備を進めておく。

(2) その他

1) 国際会費の改訂について

・会費改訂案について説明がなされた。国際委員会としての改訂案は第1案(年会費 4 千円)として、まずは総務委員会に諮る。

・田中治雄国際積立金について、NL での定期的な周知を再開する。

2) 学会誌 Bulletin 紹介

・次号(10 月号)への掲載予定の原稿について説明がなされた。

・次回以降の執筆担当者について、現時点で未執筆の委員に依頼する。(委員会内での原稿共有期限:3 か月前の月末まで、事務局への入稿〆切:前月 10 日頃まで)

2) 海外シンポジウム

・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

4. ホームページ関係

(1)英語版 HP

・ARC16 の HP 立ち上げのタイミングに合わせて英語版 HP を更新できるよう、推進メンバーを中心として引き続き検討を進める。

・ARC16 の 1st Circular と NG 代表メッセージ(動画)について、JSEG の Facebook にリンク掲載した上で、各 NG 関係者を通じて LinkedIn などで広く周知してもらう。

(2)日本語版 HP

※特になし

5. その他

・次回委員会(令和 8 年度_第 4 回)は、令和 8 年 11 月(月 or 火)に開催する方向で調整する。

以 上